

令和 8年度予算見積調書

課室名: こども支援課
担当名: 放課後児童クラブ担当
内線: 3322

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S231	放課後児童クラブ待機児童対策支援実証等事業			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	児童福祉事業費	
事業期間	令和 8年度	根拠法	児童福祉法第6条の3②ほか	針路分野施策	0402	子育てに希望が持てる社会の実現 子育て支援の充実	SDGsゴール SDGsターゲット	4 4-1, 4-2, 4-3, 4-4	

1 事業概要

これまで放課後児童クラブを運営したことのないスポーツクラブや塾等の民間企業の参入を促すことや、民間事業者向けに放課後児童クラブへの参入に対する意識調査を行い、参入意欲が高い業種を新たに開拓することを通して、放課後児童クラブの待機児童解消を図る。

放課後児童クラブ待機児童対策支援実証等事業
10,000千円

2 事業主体及び負担区分

【こども家庭庁】
こども政策推進事業費補助金
(国10/10、県0)

3 地方財政措置の状況

なし

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×1.0人=9,500千円

5 事業説明

(1) 事業内容

これまで放課後児童クラブを運営したことのないスポーツクラブや塾等の民間企業の参入を促す。
合わせて、民間事業者に向けて、放課後児童クラブへの参入に対する意識等を調査し、放課後児童クラブへの参入意欲が高い分野の業種を新たに開拓する。

(2) 事業計画

- ・「民間事業者参入実践動画」の作成
- ・民間事業者へのアンケートの実施
- ・既存事業者による説明会・見学会の実施

(3) 事業効果

放課後児童クラブの待機児童が解消し、放課後にこどもを預かる場所が確保されることで、保護者が安心して就労等をすることができる。

【活動指標(アウトプット)】

- ・「民間事業者参入実践動画」の作成
- ・民間事業者へのアンケートの実施
- ・既存事業者による説明会・見学会の実施

【成果指標(アウトカム)】

保護者が放課後にこどもの居場所を心配することなく就労等をすることができる。

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金							
決定額	10,000	10,000						0	10,000
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	放課後児童クラブ待機児童対策支援実証等事業		
単位事業名	放課後児童クラブ待機児童対策支援実証等事業	予算額	10,000千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・児童福祉費補助金	10,000	10,000	【こども家庭庁】 こども政策推進事業費補助金 補助率 10/10
合計	10,000	10,000	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	180	180	説明会、見学会等
需用費	908	908	消耗品費(説明会、見学会準備等)
役務費	72	72	チラシ送付等
委託料	8,600	8,600	動画作成委託、アンケート業務委託
使用料及び賃借料	240	240	説明会等会場使用料
合計	10,000	10,000	